

メモリーの編集

1. 矢印キーでメモリーを選ぶ
2. M E N U キーを数秒間押すとコンフィグ・ディスプレイに最初のコマンドが現れる
3. 矢印キーを使ってコマンドを選ぶ

編集コマンドの使い方については下の説明を参照願います

編集コマンド-包装と仕分け

U n 計量単位

このコマンドを使って計量単位をセットする

1. M E N U を数秒間押す
2. 矢印キーでコマンドを選ぶ
3. P R I N T を押して現在使用中の計量単位を表示させる
(ウェイト・ディスプレイの右側)
4. P R I N T を押すと重量単位が点滅を始める
5. 矢印キーを使って新しい単位を選ぶ
6. P R I N T を押して選択を確認する
7. M E N U を押して編集モードに戻る
8. 再度 M E N U を押して運転モードに戻る

編集コマンド-グレーディング

グレード・リミット

- L o l** このコマンドを使って各グレードの下限値をセットする
1. M E N U を数秒間押す
 2. 矢印キーでコマンドを選ぶ
 3. P R I N T を押すと現行のリミットがウェイト・ディスプレイに現れる
 4. 再度 P R I N T を押す。数字が点灯したら変更ができる
 5. 矢印キーを使って数値を変える。
P R I N T を押して各桁の数字を確定する
 6. M E N U を押して編集モードに戻る
 7. 再度 M E N U を押して運転モードに戻る

すべての桁を確定してください。そうしないと変更は無効になります

グレーディング方法

- G r d** このコマンドは選択したメモリーに対するグレーディングの方法を選ぶのに使います
- 計量単位のコマンドと同じ手順で行います

ノーマル・グレーディングの使用

- n E t**
1. グレーディングのメモリーと方法を選ぶ
 2. 台上には1度に1個ずつ品を置く
 3. 各品の重量がウェイト・ディスプレイに表示されそれぞれのグレードがコンフィグ・ディスプレイに表示されます

リバーズ・グレーディングの使用

- r E**
1. グレーディングのメモリーと方法を選ぶ
 2. 台上に全部の品を置く
 3. 1度に1個ずつ取りコンフィグ・ディスプレイにグレードが表示されるのを待つ

ポジティブ・グレーディングの使用

- P O S**
1. グレーディングのメモリーと方法を選ぶ
 2. 台上にトレーを置きその中に品物を1個ずつ入れる
 3. 各品のグレード・ナンバーがコンフィグ・ディスプレイに表示される

リバーズ/ポジティブ・グレーディングの停止

1. 現在使用中のメモリーで新しいグレーディング方法を選ぶ
又は
2. グレーディング方法としてリバーズないしポジティブ・グレーディングを持っていないメモリーに変更する

編集コマンド-包装

L o 下限

このコマンドはパッキング・メモリー内に下限重量をセットするのに使います
手順はグレード・リミット・コマンドと同じです

H i 上限

このコマンドはパッキング・メモリー内に上限重量をセットするのに使います
手順はグレード・リミット・コマンドと同じです

マルチレンジ計量の使用

A u t o

オート・オプションを使うと スケールはひとつの計量範囲から他の範囲へ自動的にスイッチします。高い方の範囲にある時には Max 2 インディケータが点灯します
スケールが低い方の範囲に戻るのは

- ・ 数秒間ゼロで安定したとき(ゼロ・トラッキング ON)、
- ・ 又は
- ・ Z E R O キーが押されたときです

高い方の範囲に設定された風袋はスケールが低い方へスイッチしたときにキャンセルされます

! スケール使用中は常にゼロ・インディケータに注意

- ・ 台が空のときにはゼロ・インディケータはグリーンのはずです
- ・ そうでないときは Z E R O キーを押してください

Marel hf. · Austurhraun 9 · IS-210 Gardabaer · Iceland
tel + 354 563-8000 · fax + 354 563-8001

040602JAP



- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. 上カバー | 12. ステディ・インディケータ |
| 2. レーディング・プレート | 13. オーバー・インディケータ |
| 3. Max 2 パワーダウン・インディケータ | 14. 重量単位 |
| 4. パ ッ キ ン グ・インディケータ | 15. 上矢印 |
| 5. グレーディング・インディケータ | 16. メニュー・キー |
| 6. ネ ッ ト・インディケータ | 17. 下矢印 |
| 7. ア ン ダ ー・インディケータ | 18. プリント・キー |
| 8. ウ エ イ ト・ディスプレイ | 19. ゼロ・キー |
| 9. コ ン フ ィ グ・ディスプレイ | 20. 風袋キー |
| 10. ア ク セ プ ト・インディケータ | 21. マウンティング・ビラー |
| 11. ゼ ろ・インディケータ | 22. 電線/バッテリー・プラグ
(オプション) |

M1100 シ リ ー ズ

包装及び仕分け用スケール

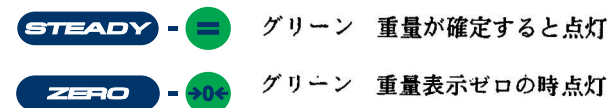
ウェイト・ディスプレイ



台上のネット重量

現在の重量単位

ステディ/ゼロ・インディケータ



グリーン 重量が確定すると点灯

グリーン 重量表示ゼロの時点灯

コンフィグ・ディスプレイ



現行グレーディング・メモリー
メモリー1、グレード3

現行パッキング・メモリー
メモリー5

ウェイト・インディケータ



赤
重量がリミット以下であることを示す

グリーン
重量がリミット以内であることを示す

赤
重量がリミット以上であることを示す

バッテリー・インディケータ



コンフィグ・ディスプレイ上でバッテリーのパワーが低くなった時に明滅する
左下隅にある Max 2 インディケータはスケールがパワーダウン・モードの時に明滅する

このモードを解消するには 任意のキーを押す

矢印キー



パッキング又はグレーディング・メモリーを選ぶ時に使う

メニュー・キー



パッキング及びグレーディングメモリーの編集に使う

プリント・キー



軽量結果の記録及びプリントと新しいセッティングの確認に使う

ゼロ・キー



スケールをゼロにセットする

風袋キー



風袋の設定及び解除

スケールへの電力供給

最初に

プラグを最寄りのコンセントに差し込む
バッテリー仕様の場合はスケールにバッテリーをセットする

結露を防ぐため 電源はいれたままにしてください

メモリーの選択

矢印キーを使って必要なメモリーにスクロールする
コンフィグ・ディスプレイに新しいメモリー番号が現れたらそのメモリーが使用可能で スケールは計量準備OKです

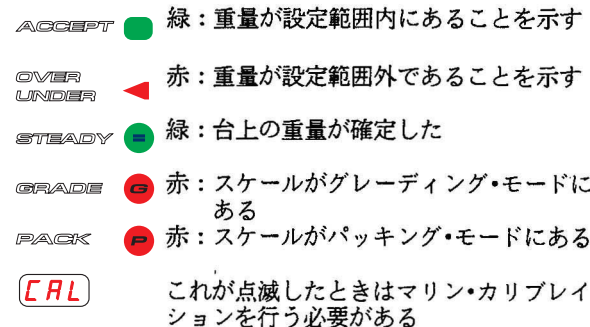
パッキングからグレーディングへ

パッキング・モードにあるときは矢印キーでメモリー・リストをスクロールし最初のグレーディング・メモリーに行く。グレーディング・インディケータが点灯しグレーディング・モードに入ったことを示す。グレーディングからパッキングに変えるときも同じ手順で行う。

グレーディング方法の選択

裏面 編集コマンドーグレーディング 参照

計量作業中



緑：重量が設定範囲内にあることを示す

赤：重量が設定範囲外であることを示す

緑：台上の重量が確定した

赤：スケールがグレーディング・モードにある

赤：スケールがパッキング・モードにある

これが点滅したときはマリン・カリブレイションを行う必要がある

計量単位

lb
kg

パッキング及びグレーディングのそれぞれのメモリーにおいて異なる計量単位を使うことができます。新しいメモリーに移ると重量はその目標重量にセットされた単位で表示されます。

注意 重量の上限・下限とグレーディング・リミットは常に選択された重量単位で表示されます。

重量の記録

- 手動で
1. アクセプトとステディのインディケータに注目
 2. インディケータが点灯したら PRINT を押して記録を取る
 3. 記録作業が続いている間はコンフィグ・ディスプレイに **REC** というメッセージが出る
 4. 同じ重量を2度記録しようとしたり重量が安定しなかったり設定範囲外だったりすると **NO** のメッセージが現れる
- 自動で
- 自動に設定すると確定重量を台から除いたり(パッキング又はリバース・グレーディング)置いたり(ポジティブ・グレーディング)したときに自動的に記録を行う。

風袋を使う

- 風袋の入力
1. トレーを台上に置く
 2. 風袋キー(TARE)を押す
 3. ネット・インディケータが点灯し 風袋が効いていることを示す。ウェイト・ディスプレイにはネット重量が表示される。

- 風袋を除く
- 台を空にし風袋キーを押すと ネット・インディケータが消える

- 風袋をチェックする
- 風袋を使うときは時々次のようなチェックをする。
トレーを台上におき 重量が0になるか見られないときは風袋キーを押す

マリン・カリブレイション

1. 台上が空であることを確認する
2. MENU と ZERO を同時に押す
3. スケールが参照ウェイトを要求する
4. 参照ウェイトを台に載せる
5. カリブレイションが行われている間 **CAL** が表示される。
何も起こらなければ PRINT キーを押す
6. カリブレイションが終わると **FAIL** が現れる
25以上の数字が出たら失敗です。1から6までの手順を繰り返してください
7. ウェイトを台から下ろす
8. スケールは0に戻り使用OKです